

札幌みらい塾 2019
ACFアートサロン
in カナモトホール

Photo 中村昌寛@photoAC

桜木紫乃 スペシャルトーク

「緋の河」の来し方行く末

Hi No Kawa

会場：札幌市民ホール 札幌市中央区北1条西1丁目2F 第1会議室

スペシャルトーク：桜木紫乃さん

聞き手：大津桃子さん (FMくしろパーソナリティ)

料金：一般1,500円 学生・ACF会員・V-net会員1,000円

※前売券は、ローソンチケット/Lコード 12622 電話/0570-084-001

ご予約・お問合せ：ACF札幌芸術・文化フォーラム

メール：sapporoacf@gmail.com/電話：090-3395-9054 (寺林)

※チケットご予約の方は当日精算 (学生、各種会員の方は学生証、会員確認) となります。

公式サイト：www.sapporoacf.org/

開場
18:00
——
開演
18:30

札幌市民ホールにて

令和元年 8月28日

水

主催：ACF札幌芸術・文化フォーラム / 大和リース(株) | 協力：さっぽろアートボランティア・ネットワーク (V-net)

桜木紫乃 スペシャルトーク

「*Hi No Kawa* 緋の河」が来し方行く末

北海道に住み、精力的に作家活動が続けている直木賞作家、桜木紫乃さんのスペシャルトーク。ACFアートサロン初の小説家登場です。

桜木さんは、北海道新聞などへの連載小説「緋の河」の掲載を今年二月に終えられました。釧路出身の桜木さんが同郷のカルーセル麻紀さんを題材として、主人公の六歳から二十二歳までを描いた「緋の河」は全国で大きな反響を呼んでいます。同作は本年六月刊行。さらに、第二部の執筆が始まっているということです。

これまでの「緋の河」そしてこれからの「緋の河」を語っていただくスペシャルトークは桜木さんファンのみならず、文学ファンにとっても見逃せないものになるでしょう。



桜木紫乃（さくらぎ・しの）

1965年北海道釧路市生まれ。2002年「雪虫」で第82回オール讀物新人賞を受賞。07年、同作を収録した『水平線』で単行本デビュー。13年、『ラブレス』で第19回島清恋愛文学賞、『ホテルローヤル』で第149回直木三十五賞を受賞。

最新作は、19年6月刊行の『緋の河』（北海道新聞連載小説）。同作は、釧路出身カルーセル麻紀さんを題材にした長編小説である。

ほかにも『硝子の葦』『起終点駅（ターミナル）』『無垢の領域』『蛇行する月』『星々たち』『ブルース』『それを愛とは呼ばず』『霧（ウラル）』『裸の華』『氷の轍』『砂上』『ふたりぐらし』『光まで5分』等、多数の著書がある。



大津桃子（おおつ・ももこ）

FMくしろパーソナリティ。月・火の午後2時から4時まで「桃子の純情・人情・六畳一間」担当。2012年に絵本セラピスト協会認定の絵本セラピストとなり、「絵本セラピー」や「絵本コンサート」を行っている。桜木紫乃さんの大のファンで、番組やブログで熱く語り、各地で開催される桜木紫乃さんトークライブの聞き手を務めている。2019年2月13日に開かれた『北海道新聞夕刊連載小説「緋の河」麻紀と紫乃が釧路を語るトークショー』進行担当。

ACF札幌芸術・文化フォーラムとは

創造都市さっぽろの芸術・文化の未来を拓こうと、2007年春に市民有志が立ち上げた団体。市民と芸術家そして行政、企業を結ぶネットワークを形成しイベントをおこない情報を発信している。市民の協働による芸術・文化の溢れるまち作りを目標としている。

令和 元年 8月28日（水）

札幌市民ホール

札幌市中央区北1条西1丁目2F 第1会議室 にて

開場 | 開演
18:00 | 18:30